

# 平塚東工場 CSRレポート

**事業内容:** 油圧ホースアッセンブリー、自動車ホースアッセンブリー  
**敷地面積:** 16,000m<sup>2</sup>(建屋面積 12,500m<sup>2</sup>)  
**従業員数:** 362人(2011年3月末日現在)  
**所在地:** 〒253-0016 神奈川県平塚市東八幡4丁目6番40号

**相談・苦情などの受付窓口:**

工場管理課 TEL: 0463-23-0336 FAX: 0463-25-3070



## 所長ご挨拶



鍋島 和彦

平塚東工場は、主に茨城工場で生産するホースと長野工場で生産する金具の組立工場です。組み立てている主な製品は建設機械等を使用する高圧ホースアッセンブリーや自動車のエアコン・パワステホースのアッセンブリーです。工場で使用するエネルギーの90%以上が電気で全事業所の中で最も温室効果ガス発生量の少ない工場です。

当工場では、GD100に掲げた「トップレベルの環境貢献企業を目指す」べく、CSR経営を

意識し事業活動を展開しています。

環境については、環境方針に掲げたとおり、省エネルギー化により炭素の発生を極小化し生物多様性の保全を考慮し、最大限資源や廃棄物の循環を目指しています。

2010年7月にOSHMS認証を取得しPDCAを回すことで安全・健康な職場環境づくりを目指しています。

また、お客さまの声を窓口である販売部門経由で伺い、製品・サービスの安全・品質向上につなげ、モノづくりの現場に反映させています。材料や部品の供給を受ける協力会社とは、サプライチェーンの輪の中で共に市場への供給責任を果たせる体制づくりに努めています。

さらに、コンプライアンスを重視し、法令順守を徹底し信頼される企業づくりを目指しています。

雇用に関しては性別による差別をなくし、障がい者の方でも健常者と同じ職場で仕事に従事できるよう配慮をしています。

毎月の事業所周辺清掃活動、6月の湘南海岸清掃活動、千年の杜活動といった貢献活動を通して地域の企業・住民の皆さんとコミュニケーションを図っています。これらの活動を通して、人にも環境にもやさしい工場を目指しています。

## 環境経営の推進

### 環境マネジメント

「平塚東工場環境方針」を定め、それに基づく環境活動はISO14001に基づき運用しています。今年度は、従来の方針に「低炭素社会の実現を目指し、生物多様性の保全の寄与」を加え、CSR経営7つの課題における環境への取り組みの範囲を拡大しました。

### 環境方針

- (1) トップレベルの環境貢献企業を目指すべく、商品の企画から設計、生産、サービス、廃棄に至るあらゆる段階で環境負荷の低減に取り組みます。
- (2) 信頼され続ける会社として、環境負荷物資の管理を徹底し、環境汚染の予防と環境改善を継続的に推進します。
- (3) 地球温暖化防止、資源保護のための省エネルギー、全てのロスのゼロ化にこだわり、低炭素社会の実現を目指し、生物多様性の保全に寄与します。
- (4) CSR経営のもと、当工場に関連する環境法規制及び当工場が同意するその他要事項を順守します。
- (5) 環境目的・目標(Plan)を設定し、計画的に実行し(Do)、活動内容の点検・是正(Check)を行い、年1回のマネジメントレビュー(Action)を通して継続的に改善し第三者の監査を受け確認します。
- (6) 全ての従業員及び構成員が本環境方針を理解し行動するよう教育と啓蒙を行ない周知をはかります。
- (7) 地域社会とのコミュニケーションをはかり、「YOKOHAMA千年の杜」活動を含め、地域社会に貢献する活動を積極的に推進します。
- (8) 本環境方針は、一般の人からの要求に応じ公開します。

### 環境データ&解説

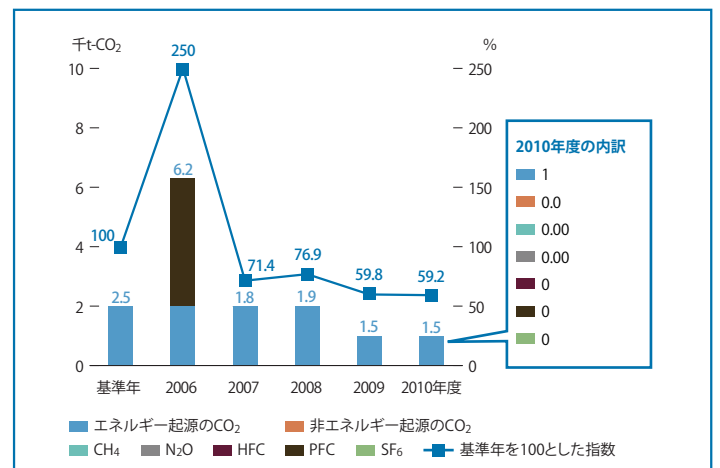
#### ■温室効果ガス排出量の削減

##### ・エネルギー使用量

主要エネルギーである電気に関して、生産設備、エアコン、照明を省エネ設備に切り替えることで、毎年その使用量を削減しています。またPCの省エネモード設定、従業員の省エネ意識向上もあわせて推進しています。

##### ・温室効果ガス排出量

化石燃料の使用を極小化し、電気使用量を毎年の省エネ改善で削減することで、毎年温室効果ガスの削減に努めています。

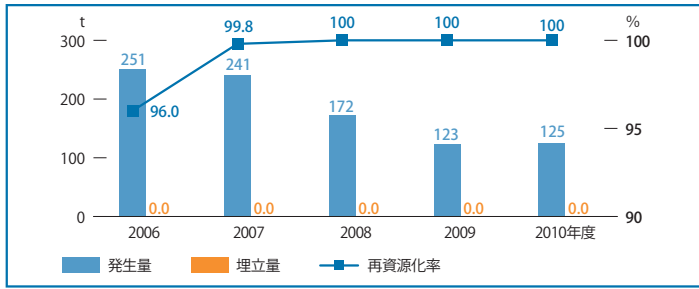


※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF<sub>6</sub>は1995年としています。  
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。  
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。

■資源の有効活用／廃棄物の削減

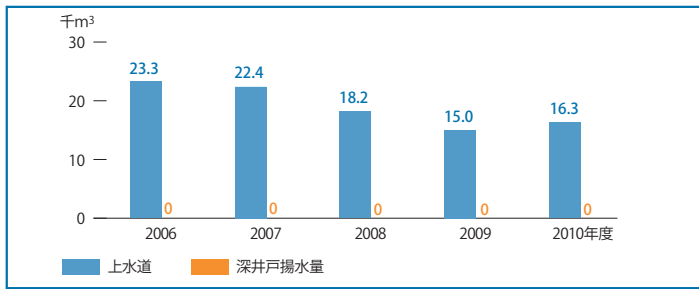
・廃棄物データ

2005年度以降、完全ゼロエミッションを継続しています。



・水使用量

2010年度実績は、16,303m<sup>3</sup>でした。



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

月2回の排水処理施設の処理水、3カ月に1回の総合排水の水質検査を実施し、基準値を超える放流を防止しています。法令の規制値より厳しく工場の自主規制値を定め、それを超えない運用を行っています。

項目	規制値	自主管理値	2010年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	5.7~8.7	6.2~8.5	7.6	8.4	6.6
BOD濃度 (mg/l)	300	150	79	140	37
SS濃度 (mg/l)	300	150	34	54	16
油分濃度 (mg/l)	30	20	6	9.7	1.0

※平塚市下水道条例

・土壌汚染

年1回観測井戸より地下水を採取し水質検査を行い、土壌汚染により水系への影響を監視しています。

化学物質の管理状況についての報告 (PRTR法への対応)

PRTR法に基づき毎年対象物質の使用量を計量・記録しています。使用する絶対量が少なく、2010年度までに行政に届出をする基準値を超えたことはありません。今後も使用量を極小化するよう努めます。

騒音、振動、臭気について

騒音、振動、臭気を伴う設備はありませんが、地域住民の皆さん方への影響を考慮し、毎月1回、敷地境界に5カ所のポイントを決めて定期測定し記録を残しています。測定はより基準の厳しい夜間に実施しています。2010年度までに基準値を超えたことはなく、今後も極小化するよう努めていきます。

安全健康な職場環境

労働安全衛生

「2011年度平塚東工場安全衛生管理方針」を定め、それに基づく安全衛生活動はOSHMSに基づき運用し、法令の定めに基づき月一回の安全衛生委員会にて労使でその適正を確認しています。方針の軸としては「安全な設備づくり」「安全な人づくり」で、ヒヤリ・ハットを毎月一人11件以上の提出をし、安全意識の高揚など人に迫った活動にかかわっています。2009~2010年度は、2年連続無災害を達成しています。

従業員の教育・訓練

従業員の成長が企業の成長につながるという考え方の中で、従業員教育に力を入れています。主なものでは、新入社員研修、TPM(設備の自主保全活動)、TPS(トヨタ生産方式)による改善、監督者研修などです。安全な人づくりについては、管理監督者による1対1教育を継続し、一人一人に対してきめ細かな教育を推進。毎朝の朝礼でKYTタッチアンドコールを励行し1日の始めに全員で安全意識を確認しています。

災害時の対応

事業所内の避難訓練は、毎年実施しています。そのほかにも周辺企業合同での加和会合の防災訓練にも毎年参加しています。

2011年3月11日の震災時には、訓練どおり冷静な判断で全員無事に屋外に避難することができました。その時の問題点の洗い出しを行い、今年6月の避難訓練は改善ができていないかをチェックして実施しました。

2011年度  
**平塚東工場 安全衛生管理方針**

**スローガン** 「安全専一」から100年 未来へつなごう安全の心  
(中央労働災害防止協会年間標語)

**安全衛生基本理念**  
(中央安全衛生委員長方針)

安全衛生は全ての基本である  
管理者と監督者の強力なリーダーシップと  
全グループ従業員の協力の下に  
労働災害防止と快適な職場づくりと健康づくりをめざす

**目標**

全体目標 ……①休業災害・不労災害ゼロ化  
「止める・呼ぶ・待つ」の定着、「徹底した水平展開」  
②交通事故 人身加害ゼロ化・業務上交通災害ゼロ化  
③OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の運用

**安全衛生方針**

- (1) 全グループ従業員一人ひとりが安全を完全に優先させ 全ての職位・職制の参加と行動と協力の下に 安全活動の向上を図る  
①職場の一人ひとりは 職場の決め事を確実に守り 安全に徹した作業を行う  
②管理者・監督者は 不安全状態・行動を見逃すことなく 部下の安全を守る責務を負う  
また行動に当たっては 安全に対する自らの姿勢を明確に示すと共に 三現主義(現場・現物・現実)に徹し 職場の実態を自ら把握する
- (2) 安全衛生に係る法令・行政指針への積極的な適合を図る
- (3) 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)により 作業と設備に係わる潜在的危険を排除するためPDCAを回し 継続的なリスク低減を図る
- (4) 安全文化の構築を更に推進する  
①2Sの徹底を推進し、そのフォローを行う  
②全員が危険予知できる人材になる(KYTのレベルアップ)  
③平塚東工場のあたり前を周知徹底し、全員が決め事・ルールを守る
- (5) 安心して働ける快適な職場環境づくりを推進するとともに 従業員の健康づくりを積極的に支援する
- (6) 自動車産業の一翼を担う企業として 交通事故防止に取り組む

**行動指針**

身近な小さな変化・異常に気づき、いち早く正常な状態に戻す

**A** 事故社員の心を  
安らげよう

**B** 事故社員の心  
を癒そう

**C** 事故社員の心  
を癒そう

2011年 4月 1日  
平塚東工場長  
**鍋島 和彦**



## 製品・サービスの安全と品質

### 消費者とのコミュニケーション

工業見学や監査で訪問されたお客さまに工場内をご覧いただき、品質、安全、環境への取り組みに対するご意見を直接ちょうだいしています。

### 苦情などへの対応

2010年度は、苦情の受付はありませんでしたが、地域住民や顧客などからの苦情やご意見には真摯に対応していきます。



## 人権・労働慣行

### 人権に関する考え方と取り組み

Eラーニングによるコンプライアンス教育を受講し、人権侵害や反社会的活動団体とのつきあいをしないなどの知識習得を行っています。また工場内で正社員、協力社員に限らず「挨拶」「身だしなみ」など基本的マナーの励行を求め、差別のない気持ちの良い事業所づくりを推進しています。

### 人材の多様性の推進

当工場に勤務する正社員、協力社員362人のうち、女性は80人在籍しており(女性比率は22.1%)、男女関係なく能力と意欲のある社員が活躍できる場を提供しています。また障がい者雇用についても積極的に進め、法定雇用率1.8%に対し、6.01%となっています(2011年3月現在)。障がい者の方が従事する作業も、健常者同様に行えるよう配慮しています。



## 取引先との信頼関係

### 汚職に関する方針

横浜ゴムグループ社員「行動規範」

1. 社会的に有用な商品、サービスの提供、お客様の満足と信頼の獲得
2. 公正、透明、自由な競争、適正な取引
3. 企業情報の公正の開示
4. 従業員のゆとりと豊かさを実現
5. 環境問題への積極的取り組み
6. 「良き企業市民」として
7. 会社の財産、情報の保護管理
8. 国際協調、現地の発展に貢献

### 取引先とのコミュニケーション

取引先の窓口である工業品生産管理部と資材調達部を経由し、ご要望・ご意見を吸い上げ、適切な改善に取り組んでいます。

汚職につながる行為は、どんなに些細なことであっても犯罪であり、絶対にあってはならないことです。従業員全員がそれを理解し、不正を行わないようコンプライアンス教育を行い、職場ごとに意識づけをしています。



## ステークホルダーコミュニケーション

### 地域社会とのかかわり

毎月最終月曜日に周辺企業と合同で事業所周辺清掃活動を実施しています。

また毎年6月に従業員ボランティアで湘南海岸清掃を実施しており、2011年で10年間継続した活動となっています。

### YOKOHAMA千年の杜プロジェクト

2010年10月16日第二期植樹を実施し、103人で631本の植樹を行いました。

### 工場見学・説明会のご案内

定期的な開催は行っていませんが、ご要望があれば随時対応しています。

